

# 2023年度決算の概要及び 2024年度業績予想の概要

三井化学株式会社

本資料の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

2024年5月15日

# 1. 2023年度決算の概要

---

# 1) 主要関連市場動向

関連市場		23年度	22年度→ 23年度	24年度	23年度→ 24年度	
ライフ& ヘルスケア・ ソリューション	メガネレンズ市場	一部在庫調整も 堅調に推移		引き続き堅調に推移		
	農薬市場	一部地域で在庫調整も 堅調に推移		引き続き堅調に推移 (在庫調整は解消の動き)		
モビリティ ソリューション	自動車生産台数(世界) *					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本</li> <li>北米</li> <li>中国</li> <li>ASEAN</li> <li>欧州</li> </ul>	グローバルに回復		前年並みに推移		
ICT ソリューション	半導体市場	需要減も 底打ち感あり		需要回復		
	スマートフォン市場	需要減も 底打ち感あり		需要減継続も 回復傾向		
ベーシック& グリーン・ マテリアルズ	市況	TDI	TDIの市況は低水準		TDIの市況は低水準	
		MDI	市況は安定的に推移		市況は安定的に推移	
	クラッカー稼働率	低稼働		低稼働継続も改善		

\* 外部機関参考による当社推定値

## 2) 主な投資案件等の状況

主な投資案件		時期	能力	FY21	FY22	FY23	FY24	FY25以降
ライフ & ハルスケア・ソリューション	整形外科領域 日本エム・ティ・エム資本・業務提携	22年1月	-					
	農業事業買収	22年1月	-					
	メガネレンズ加工メーカー買収	22年11月	-					
	不織布事業JV設立@Japan	23年10月	-					
	メガネレンズモナー能力増強@Japan	24年1月	-					
モビリティソリューション	タフマー®新設@Singapore	24年度	120KT					
ICTソリューション	EUVペリカル新設備@Japan	21年4月	-					
	アベル®新プラント@Japan	22年6月	+50%					
	ペリカル事業買収	23年7月	-					
	イクロステーブ™能力増強@Taiwan	24年6月	380万㎡					
	三井化学東セロの株式分割及び一部株式譲渡	24年4月	-					
	ポリウレタンディスプレイ(PUD)能力増強@Japan	25年6月	+100%					
	特殊イソシアネートXDI能力増強@Japan	25年9月	+20%					
半導体実装領域における材料開発強化に向けた出資	24年度	-						
ベーシック & グリーン・マテリアルズ	本州化学工業 連結子会社化	21年10月	-					
	錦湖三井化学 MDI能力増強@Korea	24年7月	200KT					
	高機能PP新設備@Japan	24年度	200KT					
	バイオマス原料調達拡大に向けた出資	22年6月	-					
新事業・新製品	PPG生産におけるLLP設立	23年5月	-					
	CVC設立	22年7月	-					

最適化・再構築	高純度テレフタル酸(PTA)生産停止@Japan	23年8月	400KT				生産停止	
	ポリエチレンテレフタレート(PET)の生産停止@Japan	24年10月	145KT				生産停止	
	市原フェノールの生産停止@Japan	26年度	190KT					生産停止
	千葉地区エチレン装置集約による生産最適化の検討開始	27年度	-				検討開始	生産最適化
	フェノール子会社株式譲渡@Singapore	23年3月	-				株式譲渡	
	TDI生産能力最適化@Japan	25年7月	120KT→50KT					生産能力最適化

### 3-1) 決算の概要

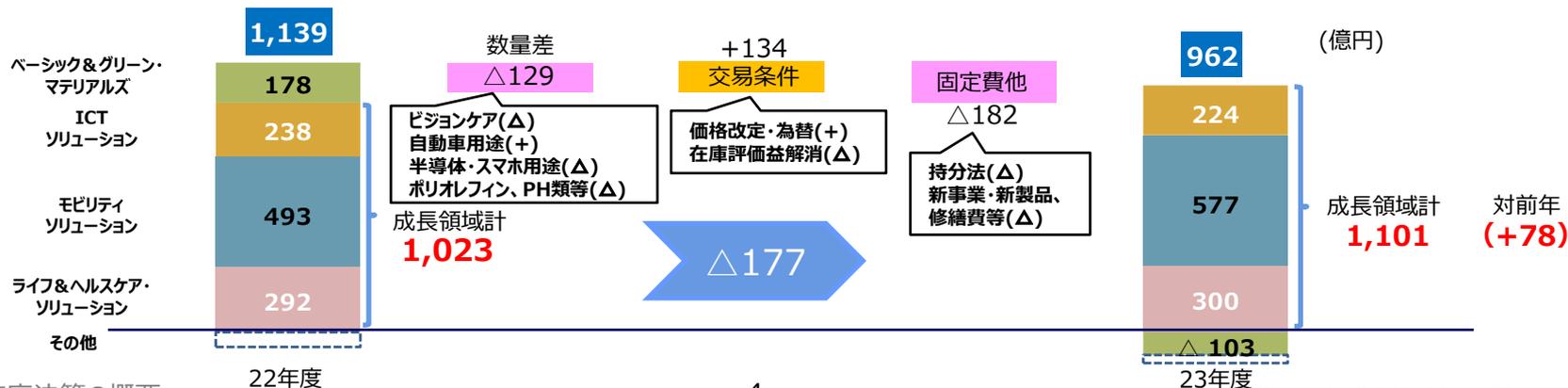
(単位：億円)

摘 要	22年度	23年度	増減	増減率
売上収益	18,795	17,497	△ 1,298	△7%
コア営業利益	1,139	962	△ 177	△16%
(うち、持分法による投資損益)	222	130	△ 92	△41%
非経常項目	151	△ 221	△ 372	-
営業利益	1,290	741	△ 549	△43%
金融収益・費用	△ 117	△ 8	109	-
税引前利益	1,173	733	△ 440	△38%
親会社の所有者に帰属する当期利益	829	500	△ 329	△40%

為替レート(円/US\$)	135	145	+ 10
国産ナフサ(円/KL)	76,600	69,100	△ 7,500

### 3-2) 決算の概要：コア営業利益（対前年）

項目	内容	損益増減
数量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジョンケアは一部在庫調整の影響により上期の販売数量は減少。</li> <li>・自動車用途関連は自動車生産台数の回復に伴い販売数量は増加。</li> <li>・半導体関連は半導体、スマートフォン市場の回復遅れにより販売数量は減少。</li> <li>・ポリオレフィン及びフェノール類を中心に需要減により販売数量は減少。</li> </ul>	(△) (+) (△) (△)
交易条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・価格改定及び円安影響により交易条件改善。</li> <li>・22年度上期の原料価格上昇に伴う在庫評価益の解消。</li> </ul>	(+) (△)
固定費他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資材費高騰による修繕費及び新事業・新製品開発等の資源投入によりコストは増加。</li> <li>・持分法投資損益の減少。</li> <li>・事業構造改善による収益改善。</li> </ul>	(△) (△) (+)



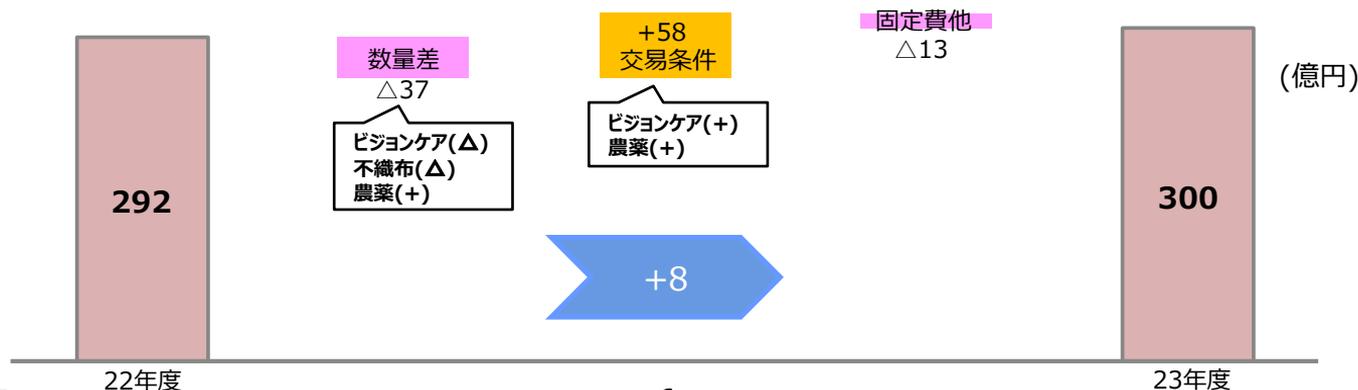
## 4) セグメント別 売上収益/コア営業利益増減 (対前年)

(単位：億円)

セグメント	売上収益			コア営業利益			増減内訳		
	22年度	23年度	増減	22年度	23年度	増減	数量差	交易条件	固定費他
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	2,582	2,717	135	292	300	8	△ 37	58	△ 13
モビリティソリューション	5,216	5,440	224	493	577	84	54	96	△ 66
ICTソリューション	2,357	2,375	18	238	224	△ 14	△ 20	69	△ 63
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	8,490	6,818	△ 1,672	178	△ 103	△ 281	△ 126	△ 89	△ 66
その他	150	147	△ 3	△ 62	△ 36	26	-	-	26
合計	18,795	17,497	△ 1,298	1,139	962	△ 177	△ 129	134	△ 182
成長領域*	10,155	10,532	377	1,023	1,101	78			

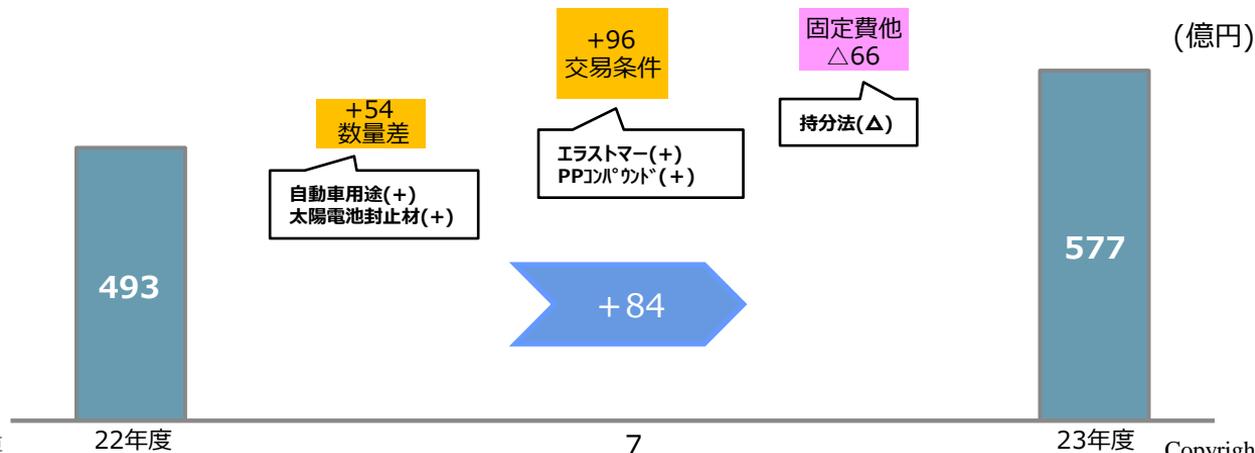
\*ライフ&amp;ヘルスケア、モビリティ、ICT

	23年度決算/事業動向	主要増減要因
ビジョンケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部在庫調整の影響により上期の販売数量は減少</li> <li>22年度値上げにより交易条件は改善</li> <li>新プラント稼働による固定費増加(MR™)</li> </ul>	数量(Δ) 交易条件(+) 固定費(Δ)
不織布	<ul style="list-style-type: none"> <li>需要減少に伴い販売数量は減少</li> </ul>	数量(Δ)
オーラルケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>販売は前年並みに推移</li> </ul>	-
農薬	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部地域で在庫調整の動きがあるものの、販売は堅調に推移</li> <li>為替差により交易条件は改善</li> <li>拡販に伴う登録維持費、試験費等の研究費が増加</li> </ul>	数量(+) 交易条件(+) 固定費(Δ)

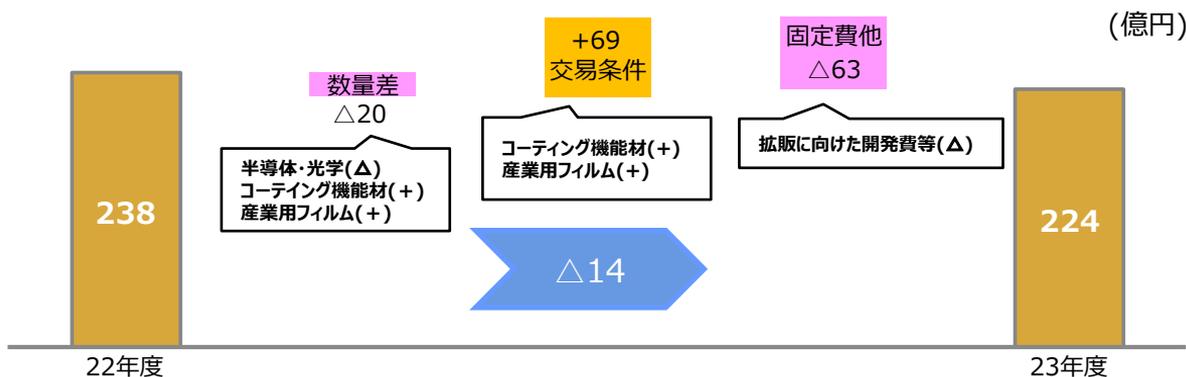


## 5-2) モビリティソリューション:コア営業利益増減/事業動向 (対前年)

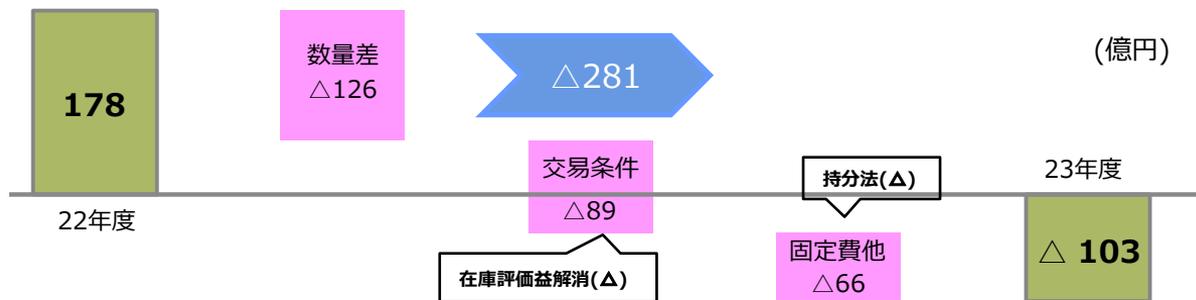
	23年度決算/事業動向	主要増減要因
エラストマー	<ul style="list-style-type: none"> <li>太陽電池封止材の販売は堅調に推移</li> <li>価格改定及び為替差、高付加価値品へのシフトにより交易条件は改善</li> </ul>	交易条件(+) 持分法(Δ)
複合材料 (PPコンパウンド 機能性コンパウンド)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車用途関連は自動車生産台数の回復に伴い販売数量は増加</li> <li>価格改定及び為替差により交易条件は改善</li> </ul>	数量(+) 交易条件(+) 固定費(Δ)
ソリューション事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車市場回復に伴う試作及び開発案件の受注が増加</li> </ul>	数量(+) 固定費(Δ)



	23年度決算/事業動向	主要増減要因
半導体・光学	<ul style="list-style-type: none"> <li>半導体及びスマートフォン市場の回復遅れにより販売数量は減少</li> <li>下期EUVペリクルの販売は堅調、及びペリクル事業買収による増販</li> <li>拡販に向けた開発費等の増加</li> </ul>	数量(Δ) 固定費(Δ)
コーティング機能材	<ul style="list-style-type: none"> <li>販売は堅調に推移</li> <li>原料価格下落により交易条件は改善</li> </ul>	数量(+) 交易条件(+) 固定費(Δ)
産業用フィルム	<ul style="list-style-type: none"> <li>下期半導体需要回復により販売数量は増加</li> <li>為替差により交易条件は改善</li> </ul>	数量(+) 交易条件(+)



	23年度決算/事業動向	主要増減要因
石化	<ul style="list-style-type: none"> <li>需要減により販売数量は減少</li> <li>値上げによる取引条件改善はあるも、22年度上期の原料価格上昇に伴う在庫評価益の解消</li> </ul>	数量(Δ) 取引条件(+) 在庫(Δ)
基礎化	<ul style="list-style-type: none"> <li>需要減により販売数量は減少及び取引条件は悪化</li> <li>持分法投資損益の減少</li> <li>事業構造改善による収益改善</li> </ul>	数量(Δ) 取引条件(Δ) 在庫(Δ) 持分法(Δ) 構造改善(+) 
ウレタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>持分法投資損益の減少</li> </ul>	持分法(Δ)



## 6) 非経常項目の内訳

(単位：億円)

摘 要	22年度	23年度	増減
固定資産処分・売却損益	△ 20	△ 12	8
減 損 損 失	△ 75	△ 242	△ 167
そ の 他	246	33	△ 213
非経常項目 合計	151	△ 221	△ 372

# 7) 財政状態計算書

(単位：億円)

摘 要	23年3月末	24年3月末	増減	摘 要	23年3月末	24年3月末	増減
流動資産	( 10,943 )	( 11,506 )	( 563 )	負債	( 11,849 )	( 12,310 )	( 461 )
現金及び 現金同等物	1,863	2,103	240	営業債務	1,643	1,799	156
営業債権	3,522	3,659	137	有利子負債	7,947	8,115	168
棚卸資産	4,419	4,511	92	その他	2,259	2,396	137
その他	1,139	1,233	94				
非流動資産	( 9,739 )	( 10,652 )	( 913 )	資本	( 8,833 )	( 9,848 )	( 1,015 )
有形固定資産及び 使用権資産	6,009	6,521	512	親会社の所有者に 帰属する持分	7,868	8,629	761
のれん及び 無形資産	675	764	89	非支配持分	965	1,219	254
非流動の その他の資産	3,055	3,367	312				
合 計	20,682	22,158	1,476	合 計	20,682	22,158	1,476

## 8) キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

摘 要	22年度	23年度	増減
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	1,012	1,613	601
(うち運転資金)	△ 583	△ 96	487
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 1,063	△ 1,239	△ 176
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	△ 51	374	425
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	25	△ 260	△ 285
IV. その他	77	126	49
現金及び現金同等物増減	51	240	189

## 2. 2024年度業績予想の概要

24年度より、本州化学工業(株)他、ICTソリューションおよびベーシック&グリーン・マテリアルズの一部の関係会社の帰属セグメントを見直しております。23年度のセグメントも、変更後の報告セグメント区分に基づき作成しております。

# 1 - 1) 業績予想の概要

(単位：億円)

摘要	23年度		24年度予想		増減	
	上期	年度(a)	上期	年度(b)	年度(b)-(a)	%
売上収益	8,237	17,497	8,900	18,500	1,003	6%
コア営業利益	420	962	520	1,250	288	30%
非経常項目	△ 108	△ 221	△ 60	△ 120	101	—
営業利益	312	741	460	1,130	389	52%
金融収益・費用	18	△ 8	△ 30	△ 60	△ 52	—
税引前利益	330	733	430	1,070	337	46%
親会社の所有者に帰属する当期利益	207	500	290	730	230	46%

為替レート(円/US\$)

141

145

145

145

+ 0

国産ナフサ(円/KL)

65,550

69,100

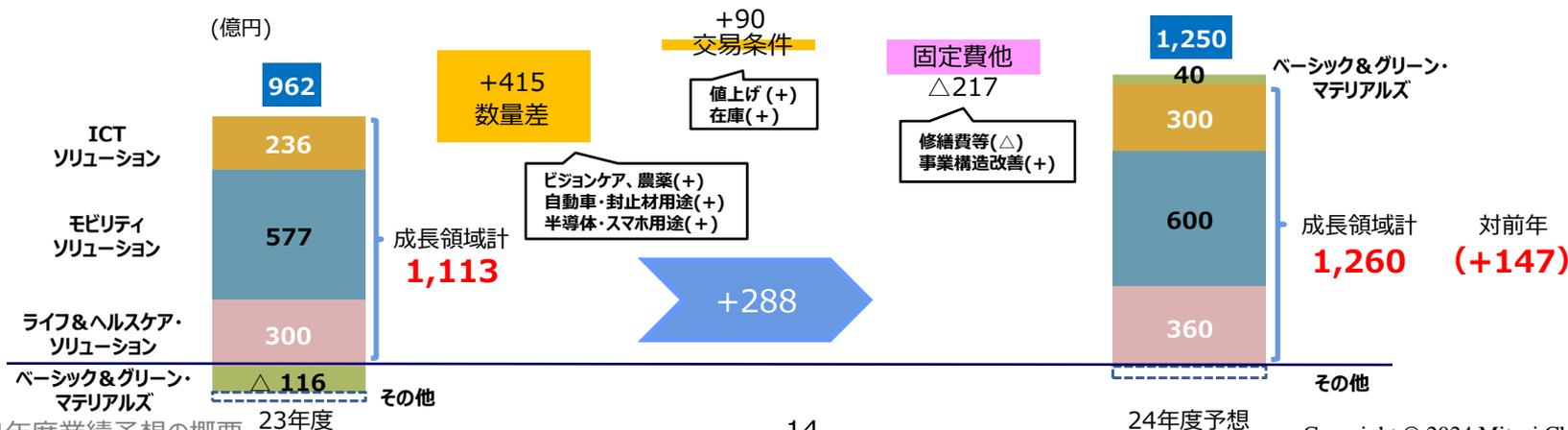
75,000

75,000

+ 5,900

# 1-2) 業績予想の概要：コア営業利益（対前年）

項目	内容	損益増減
数量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジョンケアは23年度在庫調整影響の解消により販売数量の増加を見込む。</li> <li>・農薬は引続き販売堅調を見込む。</li> <li>・自動車用途、太陽電池封止材用途は販売堅調を見込む。</li> <li>・半導体関連は半導体、スマートフォン市場の需要回復を見込む。</li> </ul>	(+) (+) (+) (+)
交易条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・値上げによる交易条件の改善を見込む。</li> <li>・23年度原料価格下落に伴う在庫評価損の解消を見込む。</li> </ul>	(+) (+)
固定費他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新プラント稼働、人件費・資材費高騰による修繕費、研究開発等の資源投入でコスト増加を見込む。</li> <li>・事業構造改善による収益改善を見込む。</li> </ul>	(△) (+)



## 2) セグメント別 売上収益/コア営業利益予想 (対前年)

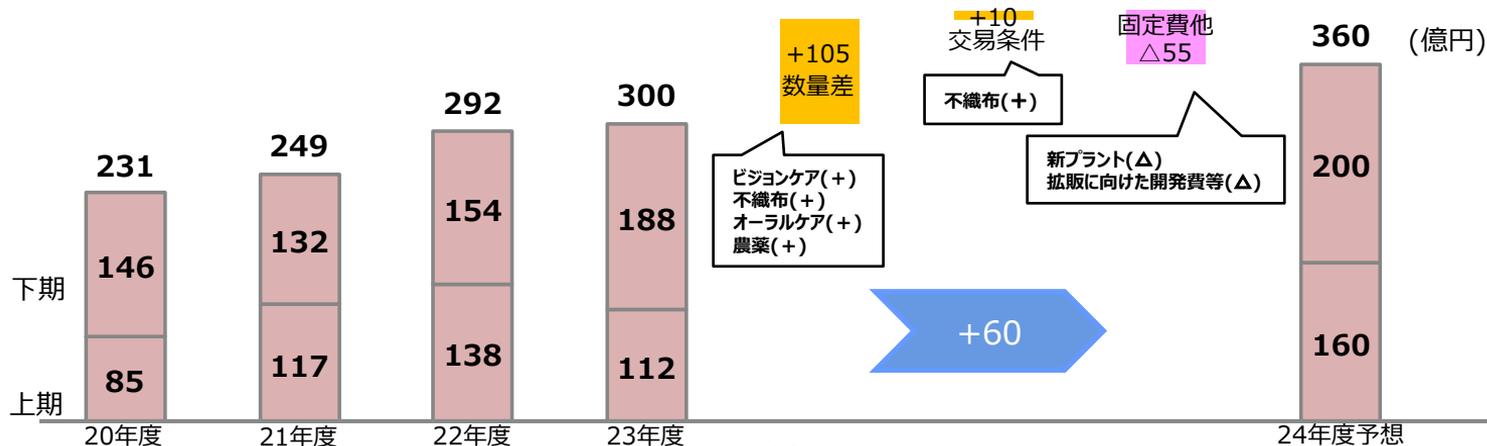
(単位：億円)

セグメント	売上収益			コア営業利益			増減内訳		
	23年度	24年度予想	増減	23年度	24年度予想	増減	数量差	交易条件	固定費他
ライフ & ヘルスケア・ソリューション	2,717	2,960	243	300	360	60	105	10	△ 55
モビリティソリューション	5,440	5,770	330	577	600	23	145	△ 70	△ 52
ICTソリューション	2,594	2,470	△ 124	236	300	64	125	0	△ 61
ベーシック & グリーン・マテリアルズ	6,599	7,160	561	△ 116	40	156	40	150	△ 34
その他	147	140	△ 7	△ 35	△ 50	△ 15	-	-	△ 15
合計	17,497	18,500	1,003	962	1,250	288	415	90	△ 217
成長領域*	10,751	11,200	449	1,113	1,260	147			

\*ライフ &amp; ヘルスケア、モビリティ、ICT

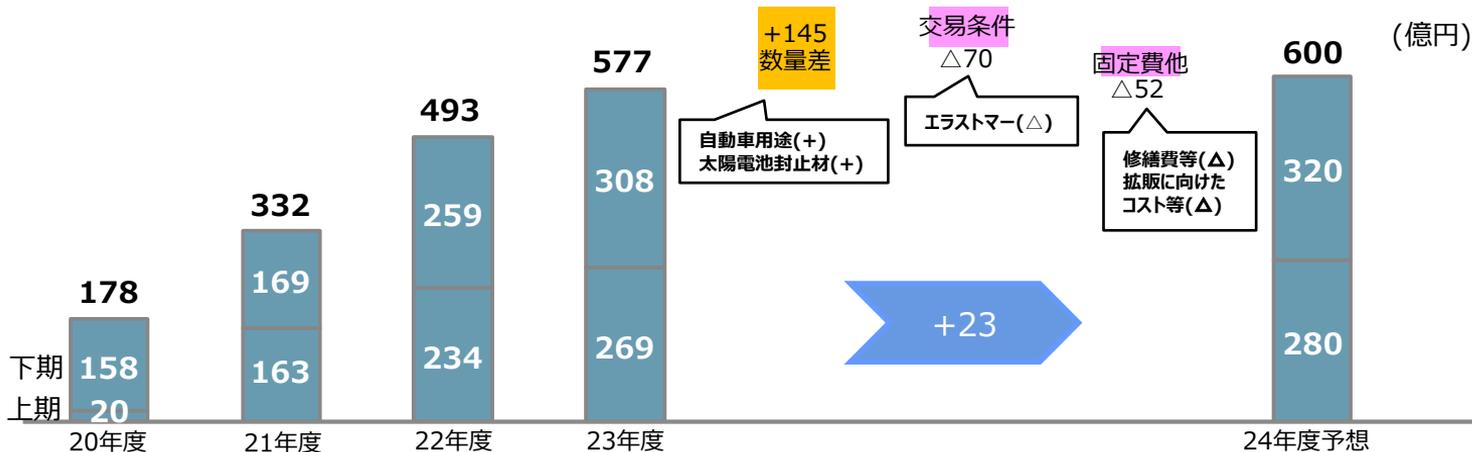
### 3-1) ライフ&ヘルスケア・ソリューション:コア営業利益増減/事業動向 (対前年)

	24年度予想/事業動向	主要増減要因
ビジョンケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・23年度在庫調整の解消により販売数量は増加</li> <li>・新プラント稼働による固定費増加(MR™)</li> </ul>	数量(+) 固定費(△)
不織布	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拡販により販売数量は増加</li> <li>・値上げにより交易条件改善</li> </ul>	数量(+) 交易条件(+)
オーラルケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拡販により販売数量は増加</li> </ul>	数量(+)
農薬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部地域で在庫調整の動きが残るものの、販売は堅調に推移</li> <li>・拡販に伴う登録維持費、試験費等の研究費増加</li> </ul>	数量(+) 固定費(△)



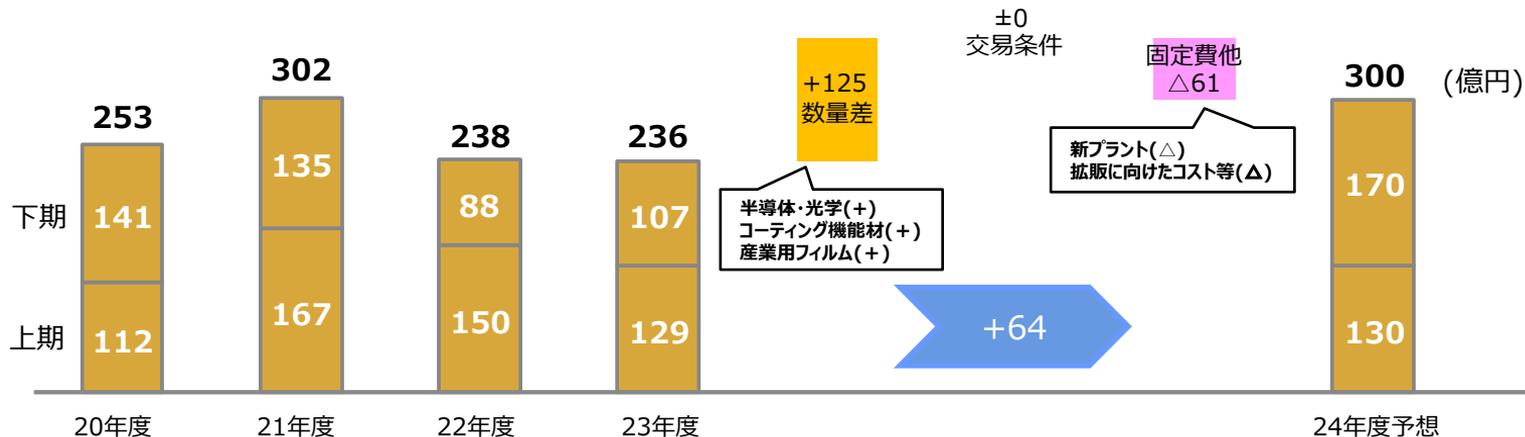
### 3-2) モビリティ・ソリューション:コア営業利益増減/事業動向 (対前年)

	24年度予想/事業動向	主要増減要因
エラストマー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽電池封止材等の需要堅調により販売数量は増加</li> <li>・一時的な需給緩和に伴う交易条件の悪化</li> <li>・人件費・資材費高騰による修繕費等のコスト増加</li> </ul>	数量(+) 交易条件(Δ) 固定費(Δ)
複合材料 (PPコンパウンド 機能性コンパウンド)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車用途の拡販により販売数量は増加</li> <li>・拡販に向けたコスト等の増加</li> </ul>	数量(+) 固定費(Δ)
ソリューション事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車市場回復に伴う受注増加</li> <li>・拡販に向けたコスト等の増加</li> </ul>	数量(+) 固定費(Δ)



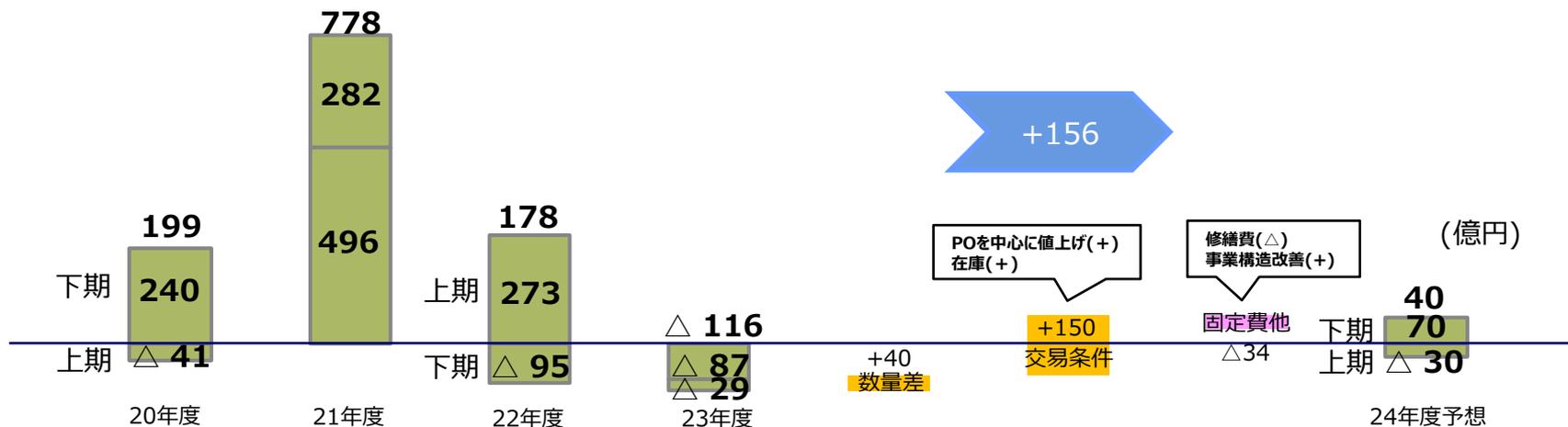
### 3-3) ICTソリューション: コア営業利益増減/事業動向 (対前年)

	24年度予想/事業動向	主要増減要因
半導体・光学	<ul style="list-style-type: none"> <li>半導体及びスマートフォン市場需要回復により販売数量は増加</li> <li>EUVペリクルの販売は引き続き堅調に推移</li> <li>拡販に向けたコスト等の増加</li> </ul>	数量(+) 固定費(△)
コーティング機能材	<ul style="list-style-type: none"> <li>販売は堅調に推移</li> <li>拡販に向けたコスト等の増加</li> </ul>	数量(+) 固定費(△)
産業用フィルム	<ul style="list-style-type: none"> <li>半導体市場需要回復により販売数量は増加</li> <li>新プラント稼働による固定費増加(イクロステップ™)</li> </ul>	数量(+) 固定費(△)



### 3-4) ベーシック&グリーン・マテリアルズ: コア営業利益増減/事業動向 (対前年)

	24年度予想/事業動向	主要増減要因
石化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・値上げによる取引条件改善</li> <li>・23年度原料価格下落に伴う在庫評価損の解消</li> <li>・人件費・資材費高騰による修繕費等のコスト上昇</li> </ul>	取引条件(+) 在庫(+) 固定費(Δ)
基礎化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業構造改善による収益改善</li> </ul>	構造改善(+)
ウレタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・値上げによる取引条件改善</li> <li>・人件費・資材費高騰による修繕費等のコスト上昇</li> </ul>	取引条件(+) 固定費(Δ)



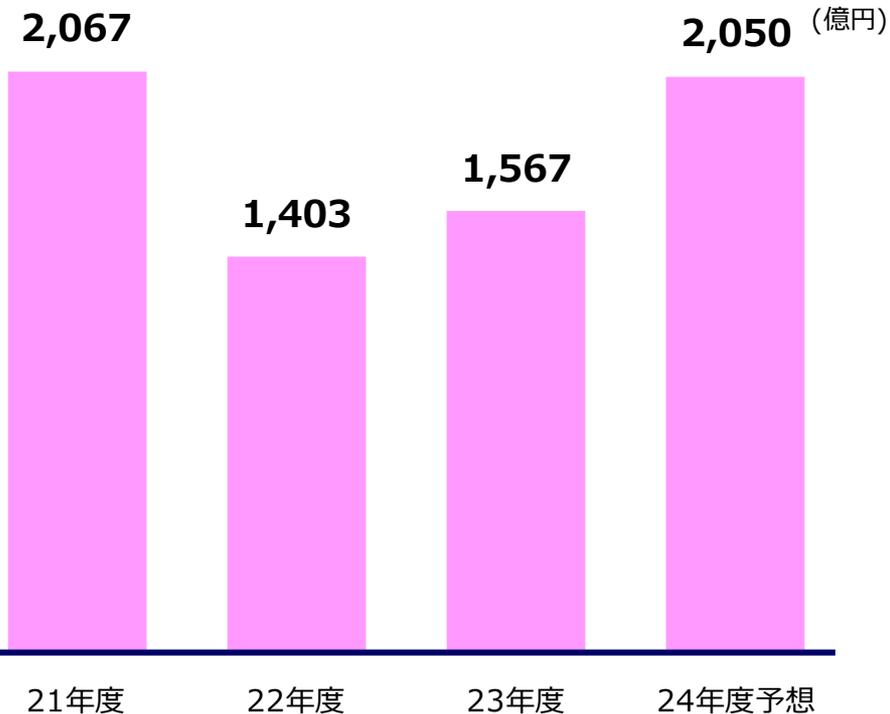
## 4) セグメント別 コア営業利益増減 (上期→下期)

(単位：億円)

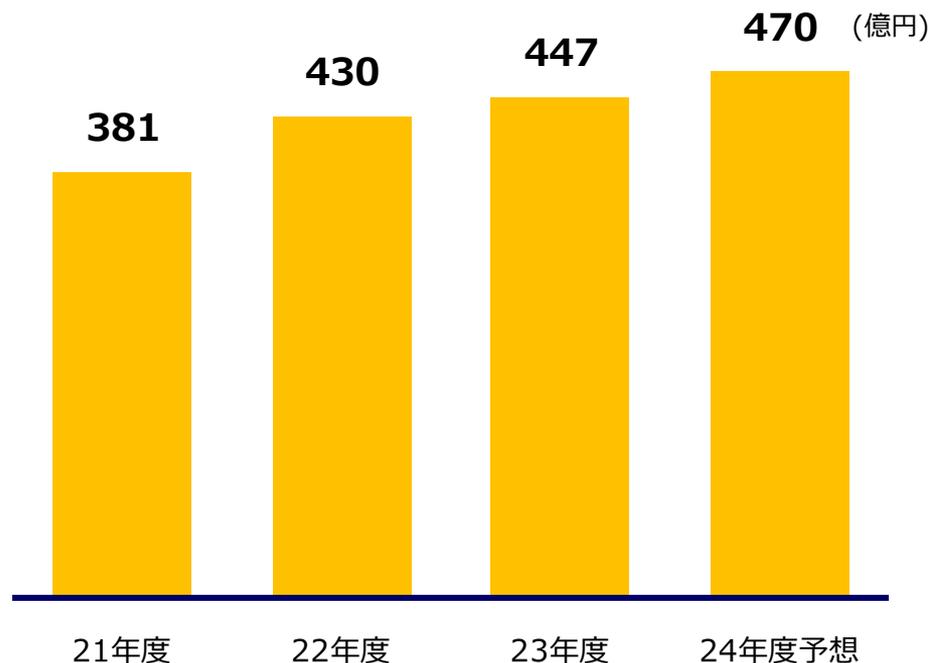
セグメント	24年度 コア営業利益			主要増減要因
	上期 予想	下期 予想	増減	
ライフ & ヘルスケア・ ソリューション	160	200	40	数量(+) 農薬
モビリティ ソリューション	280	320	40	数量(+) エラストマー、ソリューション
ICT ソリューション	130	170	40	数量(+) 半導体関連
ベーシック & グリーン・ マテリアルズ	△ 30	70	100	数量(+) 取引条件(+) 値上げ
その他	△ 20	△ 30	△ 10	
合計	520	730	210	
成長領域*	570	690	120	

\*ライフ&amp;ヘルスケア、モビリティ、ICT

### 投融資額



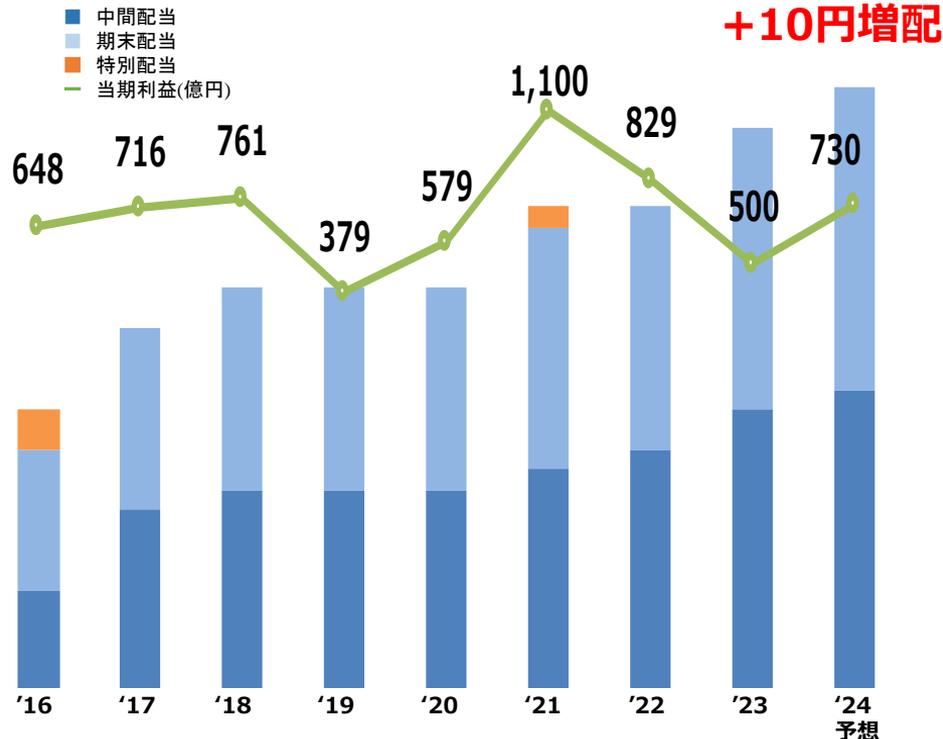
### 研究開発費



## ● 24年度配当予想

中間
期末
年間  
**75** 円/株 + **75** 円/株 = **150** 円/株

- ✓ DOE 3.0%以上を目指す
- ✓ 安定的かつ継続的な配当
- ✓ 機動的かつ柔軟な自己株式取得
- ✓ 総還元性向 30%以上



配当(円)	70*	90*	100	100	100	120	120	140	150
自己株取得(億円)	—	50	100	100	—	100	100	—	—
DOE(%)	3.4	3.7	3.7	3.6	3.4	3.5	3.1	3.2	—
総還元性向(%)	22	32	39	77	34	30	40	53	—

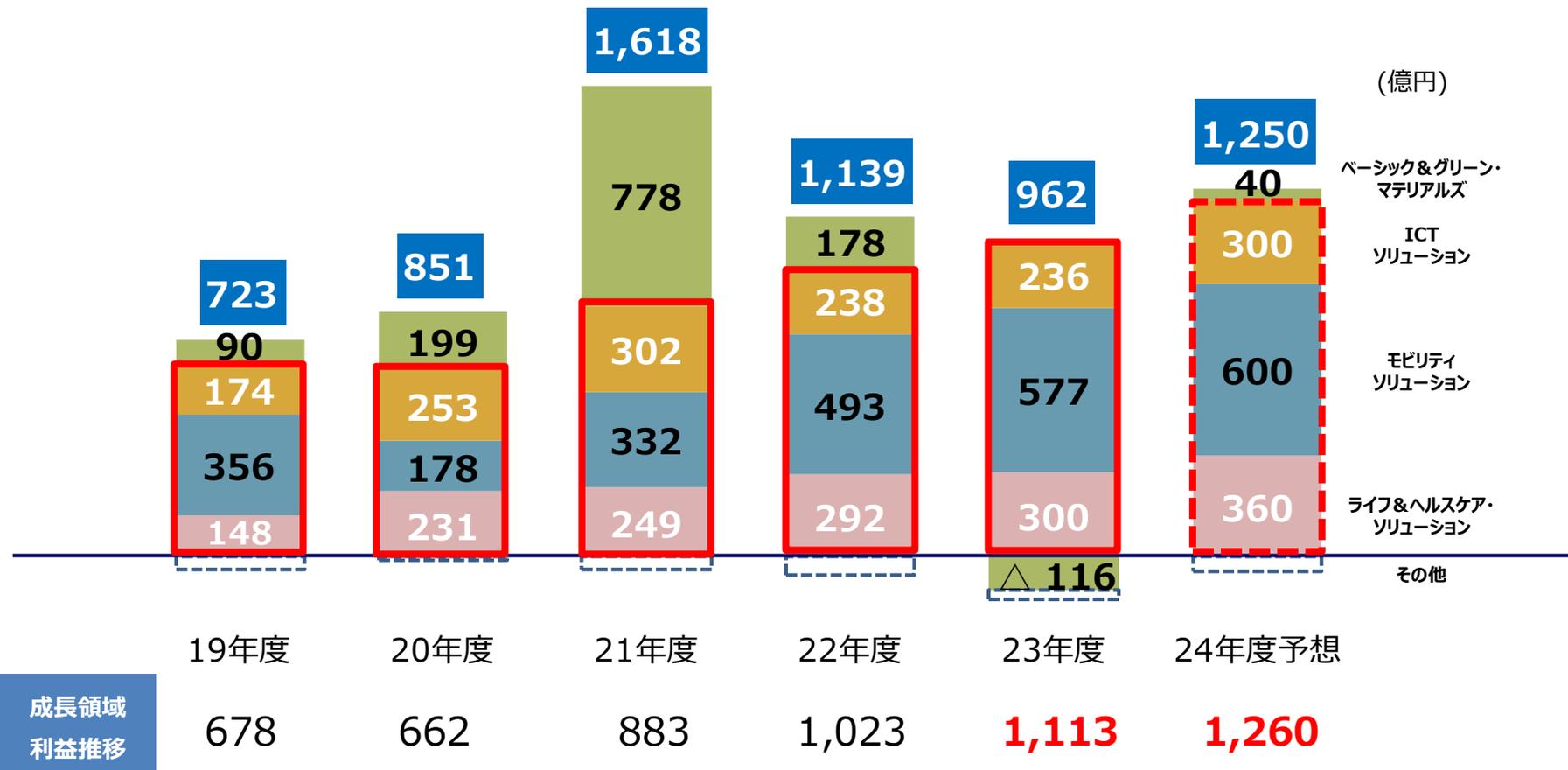
\*株式併合後の株式数を基に修正

## 7) キャッシュ・フロー計算書の予想

(単位：億円)

摘 要	23年度		24年度予想		増減 (b-a)
	上期	年度(a)	上期	年度(b)	
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	858	1,613	560	1,800	187
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 355	△ 1,239	△ 700	△ 2,050	△ 811
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	503	374	△ 140	△ 250	△ 624
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 452	△ 260	180	300	560
IV. その他	112	126	0	0	△ 126
現金及び現金同等物増減	163	240	40	50	△ 190

## 8) セグメント別コア営業利益推移



未来が変わる。化学が変える。

Chemistry for Sustainable World



三井化学

*Challenge Diversity One Team*